

平成24年度 土木設計技士資格検定試験実施案内

Photo: 国土交通省東北地方整備局

主 催：建設産業共同教育訓練協議会

後 援：建設コンサルタンツ協同組合

一般社団法人全国建設コンサルタント業協会連合会

社団法人全国地質調査業協会連合会

日 程

2012年 7月29日(日) 9:30～16:15(受付開始8:45)

会 場

札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡、鹿児島(状況により変更となる場合があります)

試験内容

四肢択一式問題(マークシート式):2時間30分

建設行政の知識、周辺業務の知識、土木一般に関する知識、土木設計に関する知識

記述式問題①:1時間

土木設計業務に関する経験事例(2例)

記述式問題②:1時間30分

具体的な業務を想定した土木設計の技術力を問う問題(記述及び作図)

受験資格・登録更新等の詳細については、以下の受験用サイトをご覧ください。

<http://www.shikenweb.jp>

お問い合わせ

試験事務局:建設産業共同教育訓練協議会東京試験センター土木設計技士資格検定試験係

〒173-0025 東京都板橋区熊野町34-7(東京躯体会館4階)

TEL:03-5964-4970 FAX:03-5926-7378 E-mail:info@shikenweb.jp

受付時間:10:00～17:00(土・日曜日、祝日は除く、メールは随時受付しています)

土木設計技士について

土木設計技士資格検定試験制度は、土木設計業務に従事する実務技術者を対象に、一定の知識、技術力、経験が担保された技術者に相当の地位を与え、土木設計に係る業務成果の向上を図ることを目的に2009年に創設されました。この試験に合格し、登録した者は「土木設計技士」の称号が付与され、主催団体が管理する土木設計技士名簿に登録されます。なお、土木設計技士は5年ごとに資格を更新する制度となっています。

この資格検定試験制度の運用を通して、土木設計実務技術者に技術の習得や向上へのインセンティブを持たせ、土木設計そのものの実務知識の他、測量成果や地質調査成果の知識及び施工に関わる現場知識を付与することにより、結果として、「品確法」の求める良質な設計成果品を生み出すことが期待されています。

また、国土交通省「建設関連業検討会」の最終報告書において、実務技術者育成を推進するための仕組み及び民間資格の活用について検討すべき項目となっており、「土木設計技士」もその対象となっています。地方自治体等に対しても本資格の活用に向けて積極的な活動を展開しています。

受験資格

検定試験の受験資格は次の各号のいずれかとします。なお、実務経験年数は通算して所定の年数以上であれば認めるものとし、必ずしも継続している必要はありません。

学 歴	実務経験年数	
	指定学科	指定学科以外
大学卒業後	3年以上	4年6ヵ月以上
短期大学・高等専門学校卒業後	5年以上	7年6ヵ月以上
高等学校卒業後	10年以上	11年6ヵ月以上
その他の者	15年以上	

〔注1〕指定学科とは土木（工学）科、建築（学）科、都市工学科など土木設計業務に関わる学科とする。指定学科の範囲は、国土交通省令で定められている一級土木施工管理技術検定の受験資格における指定学科の範囲と同等とする。

〔注2〕実務経験の範囲は土木に関する構造計算、数量計算、設計図書の作成、施工計画書の作成、設計図面の照査など土木設計に関わる業務とし、土木・建築工事及び単独で受注した建築設計業務、測量業務、地質調査業務は実務経験として認めないものとする。

〔注3〕大学卒業と同等以上と認められている学校・学科については、一級土木施工管理技術検定の受験資格に準拠する。

〔注4〕専修学校等については、一級土木施工管理技術検定の受験資格に準拠する。
※詳細は、受験用サイトを参照してください。

事前講習会

本検定試験と連携し、土木設計技士に関する実務技術者の教育と当該検定試験の実施に理解を有する組織が受講加点制の講習会を実施します。事前講習会は基本的に受験申込期間終了日から試験実施日の10日前までに実施することとなっており、検定試験の内容に即したカリキュラムとなっています。

この講習会に参加し、効果測定等の結果が良好な場合、加点は択一式問題の得点に3点加算します。
なお、複数回の受講でも加点数は5点を限度とします。